

地域の将来像を語り合いました！

プログラム

令和元年10月31日(木)

19:00～21:00

【第1回住民ワークショップ】

1. 開会・あいさつ、説明
2. 自己紹介
3. 意見交換
「地域の良いところ、気になるところ」
「今後、どんな地域になるといいか」
4. まとめ
5. 発表
6. 閉会



平成30年3月に閉鎖した芦屋町幸町にある芦屋中央病院について、建物及び土地の活用検討に必要となる事項を整理し、今後の事業実施に向け、まちの活性化に寄与する拠点施設とするため、住民の意見を交えて活用案を作成することを目的にワークショップを開催しました。

今回は、男性7人、女性6人の計13人にご参加いただき、地区の現状を知ることから始め、町の将来像について意見交換を行いました。その様子をワークショップニュースとしてみなさまにお伝えします。

第1回住民ワークショップの様子

当日の会場の様子とワークショップ後に実施した参加者アンケート結果を掲載します。



▲意見交換の様子



▲意見交換の様子



▲意見交換の様子



▲発表の様子



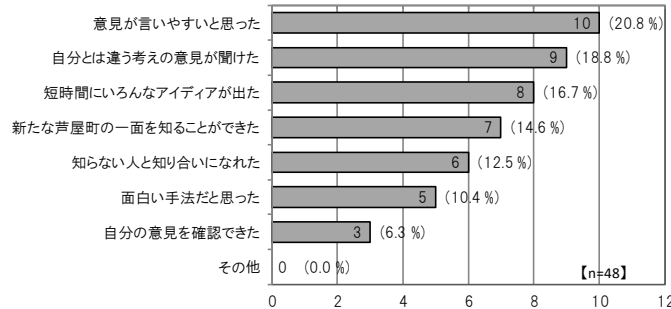
▲発表の様子



▲会場全体の様子

参加者アンケート結果

Q.本日のワークショップはいかがでしたか？



■ワークショップの感想

改めて芦屋町の良い所を知りました。
多くの方の意見が聞けたので良かったです。
芦屋町がよりよくなればと思います。
班が違えばまとめ方も違っておもしろいと思いました。
みなさん芦屋町をよくしたい気持ちが熱いと思いました。
気づかなかったいろんなことが出てよかったです。
意外と楽しい会議でした。次回の参加楽しみです。
意見を言い易い場でした。他の方の考えも聞けて良かったです。

当日の主な資料

芦屋中央病院跡地の状況について、情報提供を行いました。

1. 周辺の公共施設の状況

○概ね半径500m圏内に芦屋港、芦屋海浜公園、町役場、小学校、中学校が立地。



2. 計画地及び計画地内の建築物の状況

■計画地（敷地）に関する情報

所在地	福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号
敷地面積	18,558.84㎡
用途地域	第一種住居地域（建ぺい率：60%、容積率：200%）
接道状況	南側：道路幅員15m 西側（海側）：道路幅員16m
液状化	地震による液状化の可能性2%程度。（安全）

■計画地内の既存建築物に関する情報

名称	芦屋中央病院
築年数	昭和51年（築43年）
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上5階
建築面積	5,088.81㎡
延床面積	11,888.85㎡
従前用途	病院 ※2018年（平成30年）3月移転に伴い閉鎖

次回開催

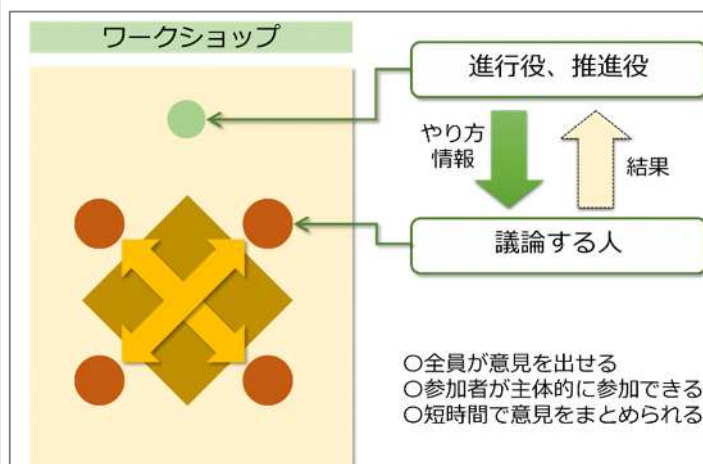
テーマ：必要な場を考えよう

11/12(火)19:00

ワークショップとは？

地区の現状を知り、町の将来像について意見交換を行うにあたり、たくさんの意見が出せるよう、ワークショップの手法を用いて行いました。

ワークショップは、参加者が主体的に議論することが出来る、参加者全員が意見を言いやすい環境が作れるなどの特徴があります。



○ワークショップのルール

- ◆ 参加者の立場は平等です
- ◆ 率直に話をしましょう
- ◆ 相手の話を否定しない
- ◆ 自分と違う意見を楽しみましょう

ワークショップの意見まとめ

参加者で協議した内容を下記にまとめました。

■地域の現状

		良いところ	気になるところ
暮らし		●安心して暮らせる ●人がやさしい ●人がわかる ●小学校があるので子供の声が聞こえてにぎやか ●子育て環境がよい ●病院がある（おのむら医院） ●静かな雰囲気 ●のんびり	●釣りをする人のマナー ●夏はゴミが増える（ポイ捨て） ●のら猫にえさをやる人がいるので困る ●犬のフンがおちている（始末していない） ●カラスが多く鳥のフンが多い ●地元びいきをして欲しくない ●ちょっと中に入ると街灯が少なくて暗い ●高校が遠い（交通費がかかる）
	買物	-	●商店が少ない 海の町なのに魚屋がない（アーケード街） ●スーパー、おしゃれな店両方ない ●歩いて買い物に行けない
	交通	●車が少ない ●僻地で車・人が少ない 	●どこに行くにも遠く、車がないと不便 ●交通の便が悪い ●バスの本数が少ない ●JR の駅がない ●道路が狭い ●朝の通勤時、道路の 1 車線が気になる ●道路の導線が悪く渋滞する ●道の舗装が悪い ●狭い道路をスピードを落とさず走る車 ●自転車が我が物顔で走る 
風景	海	●海があることが良い ●海のおいがする ●夕焼けがきれい ●港から見る夕日 ●氷が買える ●魚が美味しい ●釣り・サーフィン・海水浴 ●海のシャワー無料（トイレ、駐車場がきれい） ●釣りができる ●芦屋の海岸 とと市場から見る海がとてもきれい	●車が多い時期がある ●飛砂が多い ●風が強い！砂が飛んでくる ●黄砂、飛砂でアレルギーになった ●飛砂などで洗濯ものが外に干せない ●釣りをするときの駐車が気になる（駐禁見廻り） 
	自然 行事	●花火が家から見える ●夕日が見える ●恋人岬から見下ろす 10 月の夕日は最高 ●ブルーインパルスが見やすい所がある ●自然が残っている	●冬場に人が来ない ●人通りが少ない ●松の枯葉が多く汚れている ●街路樹の下の植え込みなど雑草がすぐのびて道路標識などが見にくい ●歩道沿いの家の木などじゃまになる
レクリエーション の場所 （海浜公園 なみかけ大橋）		●アクアシアンプール ●芦屋の浜 ●サイクリングロード ●芦屋海浜公園（広々としたきれいな公園） ●海浜公園・プール・子どもの遊具 ●海浜公園からの遊歩道 ●なみかけ大橋からの海 ●幸町公園	●公園の覇気がなく暗い ●観光協会の場所 ●物産品（お土産）が少ない 
空き地・空き家		-	●病院跡地の外壁部分の草が気になる ●空地空家が多い（雑草） ●芦屋中央病院の跡地
人		●浜崎は漁師町なのでここで生まれ育った人も多く愛着を持っている ●年 2 回神輿を出す祭りがあり、ほとんどの人が参加する ●区の加入率の 78%で高い ●地域のつながり ～サロン ●歩くこと 裏路が多くて便利 ●地域でのつながりは強い ●町内の人柄がとても良い ●顔見知りばかり	●子供が少ない ●昼間でも歩いている人が少ない ●子供が減った ●高齢化 ●空家が多くてこわい ●空家・空地が多い ●高齢者が多い 区民 203 人中高齢者が 90 人 高齢者率 45% ●高齢者の一人住まいが多い 22%（男性 5 名、女性 16 名） ●子供が少ない。小学生以下の子供がいる世帯、6 世帯、小学生 9 名

■地域の将来像

多様な家族が住めるまち		●安心	●安全なまち	●飛砂がなくなる
	高齢世帯	●高齢になっても住みよい町づくり		
	子育て世代	●子供が増えてにぎやかな地域 ●20 代の若手が素敵だと感じる地域 ●子供の育てやすい地域	●若い人の住みつく場所 ●若い世代の定住など人口増加	●家族で定住できるような住みやすい地域 ●若い人達に住んでもえる住みよい町づくり
	働く場	●仕事がある地域	●子供たちが出て行かない、働き場のある地域	
地域のつながりがあるまち		●地域の交流を密に ●活気のある地域	●大きな声がきこえる地域 ●知らない人にでもあいさつができる町	●地域活動が活発なので安心している ●それがこのまま続いていく地域
賑わいがあるまち		●自然、海、景観を活かしたレジャー、観光で賑わう地域 ●外部より人が訪れる地域	●芦屋港を拠点に活性化する地域 ●高齢者が多いので共立大学の学生さん達と交流が出来る地域	●色々なイベントをして、子供達や若者達の出入りがある地域 ●きれいな海
	アクセス性	●来やすいまち アクセスとか ●交通の便がよい地域	●しっかりした道路がある地域 ●区画整理や道路等の整備された地域（道路の改良や袋小路の解消）	